

柱状図(105.00m~119.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
110			+	花崗斑岩	灰褐	CM'	100	14	24		<p>105.14~105.19m: 上下端とも40° 割れ目に固まれて締った砂状~φ2~3mm細片化する。下端面に白色粘土のフィルムが付着。区間内全体にφ0.5mm以下と微細な黄鉄鉱が点在する。</p> <p>105.70~105.83m: 割れ目が交差し、φ20~30mmに岩片化する。各割れ目面には砂や粘土は付着していないほほ未風化な面である。</p> <p>106.21~106.81m: 仰着割れ目が多いが密着度は高くハンマーの強打でも分離・細片化しない。密着度の低いものは既に開口割れ目化している。</p> <p>106.68~106.73m: 割れ目が交差し、φ10~20mmに岩片化する。各割れ目面には砂や粘土は付着していないほほ未風化な面である。</p> <p>107.15~107.62m: CL</p> <p>割れ目ぞいにφ3~5mmと細片化する部分もあるが、砂状~粘土状挟在物は分布せず、ほほ未風化な面である。</p> <p>面の一部は淡緑色化する。これは緑泥石化変質で粘土化は伴わない。</p> <p>107.62~115.99m: CM</p> <p>岩片は硬いが、割れ目が多い。</p> <p>110.10~114.06m間は幅10~30mm間隔程度の密着度の低い「仰着割れ目」も含んでいる。</p> <p>ほほ未風化で、割れ目挟在物も殆んど分布しない。</p> <p>108.57~108.60m: 40° 割れ目ぞいに幅1mm程度砂状化する。上端面には暗緑色砂がフィルム状に付着。微細な黄鉄鉱を伴っている。</p> <p>110.40~110.51m: 白色化した「仰着割れ目」ぞいに分離し、開口割れ目化している。</p> <p>111.37m: 75~80° 割れ目ぞいの一部で幅1~2mm砂状化。</p> <p>これに交差する30° 割れ目は切られている。</p> <p>112.41~112.44m: 5° 前後の割れ目ぞいに片状化、岩片は軟化しない。</p> <p>113.63~113.81m: 白色の「仰着割れ目」が5~10mm間隔で細かく分布。密着度の低いものも含まれる。</p> <p>114.37~115.70m: 緑色系色調に変化する。</p> <p>114.65m: 80~85° 割れ目の一部に鉄肌と厚さ0.5mm以下の暗緑色粘土がフィルム状に付着。</p> <p>115.33~115.70m: 暗緑色鉱物(緑泥石)がφ1~2mm斑点状~幅1mm脈状で分布する。特に前者で分布が多い。</p> <p>115.70m以深で橙色の正長石が多く晶出、全体の色調が橙色に変化。</p> <p>115.99~116.49m: CL</p> <p>割れ目が細かく分布し、φ10~30mm主体に岩片化している。</p> <p>割れ目ぞいの多くは幅1~3mmで砂状~細密片状化する。</p> <p>116.18~116.37mでは石英の晶出が多く、全体が珪質となる。</p> <p>116.49~119.47m: CM</p> <p>挟在物のない割れ目が多いが、一部で幅1~2mmで砂状化部や粘土部をはさむ割れ目も分布する。</p> <p>また、割れ目交差部の一部ではφ5~10mm程度に細片化する部分もある。</p> <p>117.21m: 70° 割れ目に幅2mmで硬質な暗緑色鉱物脈(緑泥石)が断続的に分布する。その上盤側約1mmは弱く風化し淡褐色化するが劣化は伴わない。</p> <p>118.12~119.10m: 30° 前後と70~80° 割れ目が交差し、その一部ではφ5~10mm程度で片状化している。砂状化や粘土化は伴わない。</p> <p>118.23~118.53m: 20~30° の「仰着割れ目」が10~20mm間隔で同方向に分布。一部では密着度が低く既に開口割れ目化している。</p>	
							100	17	17			
							100	14	14			
							100	6	0			
							100	5	0			
							100	9	0			
							100	11	11			
							100	4	0			
							100	9	0			
							100	9	0			
							100	8	0			
							100	9	0			
							100	8	0			
							100	6	0			

柱状図(119.00m~126.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事	
													0 20 40 60 80 100
	120			花崗斑岩	灰褐色	CM'	100	5	0			119.47m: 40° 割れ目に幅1mm暗緑色粘土脈(緑泥石)はさむ。φ0.5mm以下の微細な黄鉄鉱伴う。	
		明褐色			CL'								119.47~120.00m: CL
					CM'			100	10	10			30~40° 割れ目がほぼ同方向に1~3cm間隔で分布する。割れ目ぞいに薄く砂状化するものが多い。
					CM'			100	23	79			119.75~119.88m: 幅1mm以下の緑灰~灰白色粘土を脈状にはさむことが多い。
					CH'			100	10	10			堅硬。30~50° 割れ目がほぼ同方向に分布する。白い筋状のゆる割れ目が多いが周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離しない。一部で既に開口化している。割れ目挟在物は分布しない。
					CL'			100	12	12			●120.63~120.65m: 破砕部(主せん断面120.65m)
					CM'			100	10	10			120.63~120.65m: Hb
					CL'			100	15	30			上端は12~32°で湾曲して、下端32°で直線的に連続。φ2~3mm石英粒、φ3~10mm岩片計20%程度含む軟質な「礫質粘土状」呈する。
					CM'								色調はオリブ灰(2.5GY6/1)。厚さ15~25mm。
													120.65m: Ho-1
											32°で上下端とも直線的に連続。石英粒、岩片を殆んど含まない軟弱粘土(方ウジ)。色調はオリブ灰(2.5GY5/1)。厚さ1~3mm。		
											120.65~121.03m: CM		
											堅硬。やや割れ目が多いが挟在物は分布しない。上端側は緑泥石化により緑灰色を呈する。劣化はない。白い筋状のゆる割れ目は周囲と同化し、ハンマーの強打でも分離しない。		
											121.03~122.23m: CH		
											堅硬。割れ目少なく、柱状~長柱状(コア長20cm以上)コアからなる。φ1~2mm暗緑灰色の緑泥石斑点が多く、色調は緑灰色を帯びる。		
											122.23~122.42m: CL		
											上位よりやや風化が進み、岩芯や割れ目の一部が褐色化する。白い筋状のゆる割れ目もハンマー打撃で分離・細片化し易いものが多い。		
											122.42~122.97m: CM		
											堅硬であるが、一部でハンマー打撃で分離し易いゆる割れ目も含む。割れ目は薄く褐色化するが挟在物は分布しない。		
											φ5~10mm橙色のカリ長石斑晶が点在し、白濁化した長石は殆んど分布しない。		
											122.97~123.41m: CL		
											堅硬。風化や変質による劣化はないが、割れ目が多く、60~70°割れ目が同方向に1~5cm間隔で分布する。割れ目挟在物は殆んど分布しない。		
											123.41~125.38m: CM		
											一部で密着度の低い割れ目やゆる割れ目が分布し、ハンマーの強打で分離・細片化する(分離・細片化しないものもある)。		
											ほぼ未風化・未変質で長石の白濁化は肉眼では認められない。		
											全体にφ1~2mm暗緑灰色の緑泥石を斑点状に含み緑灰色を帯びる。		
											124.30m付近でコアが片状化するが、これはコアチューブ引上げ時に人為的に発生した乱れである。		
											125.00~125.38m: 白い筋状のゆる割れ目が多いが、周囲と同化しハンマーの強打でも分離しない。		
											125.38~125.70m: CL		
											密着度がきわめて低い割れ目や、ゆる割れ目が1mm程度の間隔で分布。ハンマーの軽打で分離・細片化する。すでに開口化するものも多い。		
											125.38m: 50°割れ目ぞい幅1mmはφ3~4mmの硬質細片状化部。粘土、砂は伴わない。		
											125.70~126.25m: CM		
											一部で密着度が低い割れ目や、ゆる割れ目を含む。割れ目挟在物は分布しない。		

柱状図(126.00m~133.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
130			+	花崗斑岩	灰褐 にふい 橙	CM'	100	7	0		<p>126.25~127.41m : CL 一部で50~60° 割れ目ぞいにφ5mm前後に細片化~砂状化する。また厚さ1~2mmの緑灰、灰白色軟質粘土もはさんでいる。硬さ「C」岩片主体部は灰褐色(7.5YR6/2)で残留し、細片化~砂状化部はにふい橙(7.5YR6/4)の色調で、全体では後者色調が主体。 127.00m以下は挟入物は分布しなくなる。 ●127.41~127.48m : 破砕部(主せん断面127.41m) 127.41m : Hc-1 50° で上下端とも直線的に連続。石英粒、岩片を含まない軟弱粘土(カウジ)。色調は灰白(10YR8/1)。厚さ0.5~1mm。 127.41~127.48m : Hj 上端50° で直線的、下端は50~66° で湾曲して連続。φ3~5mmに細片化した岩片からなり、岩片間には幅1~2mmの軟弱粘土が脈状に分布。岩片は硬さ「D」主体で硬さ「E」も少量含む。127.47mに主せん断面と同方向のsぞいにマンガン鉱染を伴う。色調はにふい黄橙(10YR7/4)。厚さ40~45mm。</p>	
					灰褐 にふい 黄橙	D'	100	8	0			
					灰褐	CL'	100	3	0			
					灰赤	D'						
					明褐灰	CL'	100	4	0			
					明褐灰	CM'	100	5	0			
					明褐灰 にふい 黄橙	CL'	100	3	0			
		明褐灰	D'	100	3	0						
					CL'							<p>127.48~128.82m : CL 40~60° 割れ目主体で一部で厚さ1mm以下の風化砂状部をはさむ。粘土ははさまない。 127.82~127.83m : 上端60°、下端61° 割れ目に囲まれ、φ2~3mm破砕状細片を含む固結した中粒~粗粒砂状を呈する。粘土は伴わない。 ●128.82~128.97m : 破砕部(主せん断面128.87m) 128.82~128.87m : Hj 上端30° 幅1~2mm軟質緑灰色粘土脈で、下端63° でいずれも直線的に連続。主せん断面に平行~斜交する割れ目と、これに60~90° で斜~直交する割れ目が多く、φ3~1mmに岩片化している。岩片間が薄く砂状化する。粘土化は少ない。全体として「砂混じり岩片状」を呈する。色調は灰赤(2.5YR6/2)。厚さ50~90mm。 128.87~128.88m : Hc-2 63° で上下端とも直線的に連続。φ1~3mm石英粒と岩片を20%程度含む軟質粘土(カウジ)。色調は暗緑灰(5G4/1)。厚さ3~5mm。 128.88~128.97m : Hj 上端63°、下端62° ともに直線的に連続。下端は幅2mmの硬質白色鉱物脈と接する。60~70° と10~30° 割れ目が多くφ5~15mmに岩片化。 岩片間に緑色粘土細脈や薄く砂状化する「粘土・砂混じり岩片状」を呈する。色調は灰赤(2.5YR6/2)。厚さ60mm。 128.97~129.95m : CL 129.11~129.26m : 風化進み割れ目ぞいに砂状・細片状化する。 129.95~130.79m : CM 下端側の一部で割れ目ぞいに幅1~3mm砂をはさむが、これ以外では挟入物は分布しない。 130.58m : 80° とこれと交差する40~50° 割れ目ぞいで幅1~3mm風化砂をはさむ。粘土は伴わない。また80° 割れ目は交差する一部の割れ目を切っている。 130.79~131.95m : CL 割れ目ぞいに風化が進み砂状化することが多い。 また部分的に淡緑灰~灰白色粘土細脈(幅1mm以下)を伴う。 131.79m : 55° 割れ目上盤側は厚10~15mm砂状化。灰白色粘土細脈も伴う。 131.95~132.89m : D 風化で締った砂状化が拡大し、φ5~20mm岩片を含む砂礫状を呈する。 砂状部中には灰白色主体で、粘土化部や厚1~2mmの細脈として分布。 132.41~132.60mは硬さ「C」の岩片状コア。 131.95~132.18mと132.32~132.41mは硬さ「C」岩片のみ採取され、風化砂状部は掘削時に流失したものと推定される。 132.89~133.24m : CL 一部の割れ目ぞいは厚1~2mm程度に砂状化した砂をはさむ。</p>

柱状図(133.00m~139.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	R Q D (%)	
	-74.47	133.75	+	花崗斑岩	CL'		100	2	0				133.15~133.24mの一部で砂状化が拡大している。
	-74.80	134.23	+	アブライト	D		100	5	0				133.24~133.49m : D 砂状化が拡大し、締った砂状~砂礫状を呈する。変質は弱い。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				133.49~133.75m : CL 20~30° と60~70° 割れ目が交差し、割れ目が多くなっている。
			+	花崗斑岩	D		100	4	0				●133.75~133.92m : 破砕部(主せん断面133.75m) 133.75m : Hc-1 45° で上下端とも直線的に連続。石英粒や岩片を含まない軟弱粘土(ガウジ)。色調は明褐灰(10G7/1)。厚さ0.5~1mm。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				133.75~133.80m : Hb 上端45° で直線的に、下端35° で波打って連続。粘土化した硬さ「E」や硬さ「D」岩片を20~30%含む軟質な「礫質粘土状」を呈する。硬さ「D」岩片中には主せん断面と同方向の割れ目が分布する。色調は緑灰(10G6/1)。厚さ30~40mm。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				133.80~133.92m : Hj 上端35°、下端50° ともに波打って連続。大半が粘土化したφ5~10mm岩片で、岩片間は幅1~2mm灰白~緑灰色軟質粘土が脈状に分布。全体に「粘土混じり岩片状」を呈する。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				色調は上端側が緑灰(10G6/1)、下端側がオリブ灰(2.5GY5/1)。厚さ100mm。 133.92~134.15m : 硬さ「C」主体。 ●134.15~134.23m : 破砕部(主せん断面134.15m) 134.15~134.19m : Hc-1 75° で上下端とも直線的に連続。石英粒、岩片は殆んど含まない軟質粘土(ガウジ)。下端側にφ0.5mm以下の黄鉄鉱が点在する。色調は上端側・オリブ灰(2.5GY5/1)、中央・明オリブ灰(2.5GY7/1)、下端・暗オリブ灰(2.5GY4/1)で3色の縞状模様を呈する。厚さ20mm。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				134.19~134.23m : Hj 上端75° で直線的に、下端はコアが砕けているため不明(50° の可能性あり)。φ5~20mm岩片状に砕け、その割れ目面には灰緑色粘土が付着するため「粘土混じり岩片状」を呈すると推定される。色調はオリブ灰(2.5GY5/1)。厚さ30mm以上。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				134.23~134.77m : CL アブライト下盤側貫入境界直下部である。割れ目はやや多いが劣化は伴わない。 134.23~134.33m : アブライトと花崗斑岩が混在した岩相を呈する。色も緑灰色。 134.77~135.34m : D 土砂状~φ10mm細岩片状部が主体。 135.34~145.65m : CL 硬さ「C」を主体とした割れ目発達部。 硬さ「B」は上端の135.34~136.50mに小分布。 一部で密着度の低いゆ着割れ目を含んでいる。 硬さ「B」は割れ目ぞいに風化が広がりφ5~10mmの岩片を含む砂礫状を呈し、136.50~136.64m、137.44~137.60m、139.87~140.04mにコア長15cm前後で分布する。 136.40m以深でφ2~3mmの暗緑灰色、緑泥石斑点が点在する。
			+	花崗斑岩	CL'		100	3	0				136.54m : 35° 幅10~15mmでアブライトがφ5mm前後で砕けて分布。両境界部も含め粘土は伴わない。 137.44~137.53mはφ5~10mm破砕部の細礫主体。137.53~137.60mは締った砂状部も含む。137.68mで色調が変化。137.68m以浅は橙褐色を帯びる。これはカリ長石が多いため。137.68m以深は淡緑灰色を帯び、これは緑泥石を多く含むためと推定される。 138.00~138.30m : 割れ目の一部は砂状化し、厚1~2mmの灰白色粘土を脈状に伴うことがある。 138.75m : 80° 割れ目に厚さ1mm方解石脈はさむ。この脈は138.67m・38° 割れ目で切られている。

柱状図(139.00m~152.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事								
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)									
140			+	花崗斑岩		褐灰	CL'	100	3	0		<p>139.67m: 75° 割れ目の一部が厚さ5mm程度砂状化。</p> <p>139.87~140.04m: 30° と80° 割れ目が細かく交差し、φ5~10mm細礫状~粗粒砂状に砕けている。粘土は殆んど伴なわなし。</p> <p>140.04~145.65m: 厚さ10cmを超える砂礫状風化部は分布しないが、割れ目ぞいに厚さ1~5mm程度にφ1~3mmに砂状~片状化する割れ目を多く含む。</p> <p>割れ目は密着度の低い「ゆ着割れ目」が開口化したものが多い。粘土を伴う割れ目はわずか。</p> <p>141.10~141.18m: 40° 割れ目ぞい砂状化、φ5~10mm硬質岩片(硬さ「C」)も多く残留している。</p> <p>141.96~142.23m: 互いにほぼ直交する60°系と30°系の割れ目が細かく交差し、φ5~10mm主体に細片化している。</p> <p>岩片自身は硬さ「C」と硬質で一部厚さ1~2mm程度に砂状化。</p> <p>粘土は伴なわない。</p> <p>142.91~144.90m: 割れ目間隔は上下位に比べやや広くなるが、密着度の低い割れ目やゆ着割れ目を多く含む。</p> <p>143.57~143.70m: 上端60°、下端70°割れ目ぞいに緑泥石化強く、緑灰色を呈する。</p> <p>粘土は殆んど伴なわなしが、φ0.5mm以下の微細な黄鉄鉱と60°、厚さ5~10mm石英を脈状に伴う。</p> <p>145.65~148.26m: D</p> <p>大半が割れ目ぞいに風化が拡大し、締った砂状を呈し、φ5~20mmで残留する岩片も含め、砂礫状~礫質砂状を呈する。</p> <p>一部で少量ながら灰白色~暗緑灰色粘土が脈状に分布。</p> <p>145.74~146.00m、146.91~147.50mは硬さ「D」主体の、147.81~148.01mは硬さ「C」の各々、中石的に分布。</p> <p>146.65~146.91m: 深度と共に残留する岩片量が増加する。</p> <p>146.91~147.50m: 硬さ「D」岩片主体であるが割れ目ぞいに砂状化が進む部分も含む。</p> <p>147.65m: 55° 割れ目に厚さ1~2mm暗緑灰色緑泥石脈はさむ。砂状~シルト状化している。</p>								
								100	5	0										
								100	5	0										
								100	4	0										
								100	7	0										
								100	6	0										
								100	3	0										
								150					+	花崗斑岩		明褐灰	D'	100	2	0
																	D'	100	4	0
																	CL'	100	6	0
																	D'	100	5	0
								150					+	花崗斑岩		褐灰	CL'	100	4	0
																明褐灰		100	5	0
											<p>147.81~148.01m: 硬さ「C」と硬質で残留。割れ目は多いが挟在物は分布しない。</p> <p>148.26~149.19m: CL</p> <p>上端55°、下端50°の両者ほぼ同方向に割れ目で囲まれる。</p> <p>148.68m: 50°、厚さ1~3mm暗緑灰色砂状~シルト状の緑泥石脈はさむ。</p> <p>同脈は微細(φ0.1mm)のセリサイトを少量伴う。</p> <p>148.84m以深、割れ目ぞいに厚さ1~2mmで砂状化する部分がある。</p> <p>149.19~149.67m: D</p> <p>割れ目ぞいに風化が拡大し締った砂状を呈する。岩片はφ10mm前後の硬さ「C」で残留し、砂礫状を呈する。</p> <p>粘土はわずかであるが、灰白色粘土が点在する。</p> <p>下端の149.67mは40°、厚さ1mm暗緑灰色の砂状~シルト状で緑泥石脈はさむ。</p> <p>149.67~152.10m: CL</p> <p>硬さ「C」と「D」の岩片からなる。</p> <p>149.67~150.22mは硬さDで割れ目の一部に砂などをはさむ。</p> <p>150.22~150.52m: 上下よりも変質し硬さ「D」に軟化している。</p> <p>下端の150.52mは48°、幅1~2mmで砂~シルト状の緑泥石脈、微細な黄鉄鉱を伴う。</p> <p>150.52~152.10m: 硬さCで、一部で割れ目ぞいに風化するが概ね風化は弱く、割れ目挟在物も殆んど分布しない。</p> <p>150.52m以深は岩芯にφ1~3mm暗緑灰色斑点が点在したり、割れ目の面が緑灰色化するなど緑泥石化が認められるが粘土化などの劣化はない。</p> <p>151.40~151.60m: 割れ目が密集し、φ10mm程度の岩片状コア化している。割れ目の面の大半は挟在物が付着していない。</p>									

柱状図(152.00m~160.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記事	
												0 20 40 60 80 100
		152.00		花崗斑岩	褐灰	CL'	100	7	0		<p>●152.10~152.15m: 破砕部(主せん断面152.11m)</p> <p>152.10~152.11m: Hj 上端45°, 下端68° でいずれも直線的に連続。主せん断面と直交する割れ目が多く、φ5~10mmに硬さ「D」で岩片化。色調はにぶい橙(5YR6/3)。厚さ15mm。</p> <p>152.11m: Hc-2 68° で上下端とも直線的に連続。φ1~2mmの石英粒。岩片を約20%程度含む軟質粘土(ガウジ)。厚さ1mm。暗緑灰色。</p> <p>152.11~152.15m: Hj 上端68° で直線的に、下端55° で波打って連続。φ3~5mm岩片主体(一部φ10mm)。岩片間は砂状化~粘土化した「砂・粘土混じり岩片状」を呈する。色調は緑灰(10GY5/1)~明褐灰(7.5YR7/2)。厚さ20~50mm。</p> <p>152.15~153.59m: CL 風化で全体が硬さ「C」。割れ目が多く、152.51m以深では、互いに交差する割れ目でφ10~20mm程度の岩片が主体。割れ目の一部に砂を1mm程度はさむことがある。153.30~153.47mでは、緑泥石化が進み、一部の割れ目~岩芯は暗緑灰色化する。</p> <p>153.59~154.53m: D 風化で割れ目ぞいに砂状化が拡大。岩片ぞいの割れ目は残留する。154.00m以深では硬さ「C」「D」岩片と締った砂状部からなり「砂礫状」を呈する。 154.00m以浅は岩片量が多い。 153.60~153.76mは緑泥石化が著しい。粘土化は伴わないが赤褐色の褐鉄鉱やφ0.1mmセリサイトを伴う。</p> <p>●154.53~154.71m: 破砕部(主せん断面154.58m)</p> <p>154.53~154.58m: Hb 上端63°, 下端36° でいずれも波打って連続。φ2~3mm石英粒。φ3~10mm粘土化~硬さ「D」岩片20~30%含む軟質な「礫質粘土状」を呈する。中央の緑灰色粘土は軟弱。色調は上端・明緑灰(5G7/1)、中央・緑灰(5G5/1)、下端・灰褐(5YR6/2)の縞状。厚さ40~50mm。</p> <p>154.58m: Hc-1 36° で上端は波打って、下端は直線的に連続。φ1~2mm石英粒をわずかに(5%以内)に含む軟質粘土(ガウジ)。色調は上下端側が褐灰(7.5YR6/1)、中央が灰赤(2.5YR6/2)の縞状を呈する。厚さ1mm。</p> <p>154.58~154.71m: Hj 上端は36° で直線的、下端は65~70° で湾曲しながら連続。50~70° とこれに斜交する割れ目が多く、φ3~5mmに細かく片状化。岩片間には幅1~2mmの明緑灰~緑灰色の軟質粘土脈が、またわずかに幅1mmの軟質灰白色粘土脈が分布。全体として「粘土混じり岩片状」を呈する。色調はにぶい橙(7.5YR7/4)~明緑灰(10G7/1)。厚さ1mm。</p> <p>154.71~155.00m: D 軟化著しいが、割れ目は残留する。</p> <p>155.00~160.00m: CL 割れ目ぞいは暗緑灰色の緑泥石化が進む。特に、157.89~160.00mでは緑泥石化が著しく、色調が緑灰色を呈し、厚さ2~20mmで砂~シルト状化する部分も認められる。</p> <p>156.25m: 75~80° 厚さ7~8mmでφ2~3mmに細片化し、岩片間に緑泥石砂状~シルト状部を伴う。</p> <p>156.72m: 75~80° 厚さ1~10mmの固結砂状部がφ1~2mm花崗斑岩偏平礫状部をはさんで上下位方向に連続する。 下端は158.24mで、下端面には鏡肌と緑泥石粘土フィルムが付着する。 158.00~158.20m: φ5~10mm破砕礫状部と固結砂状部からなり砂礫状を呈する。 159.06~159.33m: 割れ目ぞいに暗緑灰色砂状~シルト状の緑泥石が厚さ2~20mmで分布。岩片自身も岩芯まで暗緑灰色化し、それが160.00mまで続く。 159.78m: 70~80° 厚さ1~10mm方解石が膨縮しながら連続する。</p>	
		152.03				明褐灰	CL'	100	4	0		
		152.06				暗緑灰	D'	100	5	0		
		152.09				明褐灰	D'	100	5	0		
		152.12				灰褐	CL'	100	2	0		
		152.15				明褐灰	CL'	100	4	0		
		152.18				明褐灰	CL'	100	3	0		
		152.21				明褐灰	CL'	100	5	0		
		152.24				明褐灰	CL'	100	5	0		
		152.27				明褐灰	CL'	100	5	0		

H27-B-2

コア写真(0.00m～18.00m)



H27-B-2

コア写真(18.00m～36.00m)



H27-B-2

コア写真(36.00m～54.00m)



H27-B-2

コア写真(54.00m～72.00m)



H27-B-2

コア写真(72.00m~90.00m)



H27-B-2

コア写真(90.00m~108.00m)



コア写真(108.00m~126.00m)



H27-B-2

コア写真(126.00m~144.00m)



H27-B-2

コア写真(144.00m～160.00m)



余白

H24-B14-2

余白

H24-B14-2

柱状図(0.00m~18.00m)

H24-B14-2

孔 口 標 高	T. P.	7. 06m	掘 削 長	150. 00m
---------	-------	--------	-------	----------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm) R Q D D (%)	記 事
							100				0.00~6.66m: 埋土(bk層)
							100				0.00~3.47m: 礫・シルト混り砂 細粒~粗粒砂からなる不均質な砂にシルトおよび径5~30mmの角~亜角礫が混入。礫種は花崗斑岩・石英を主とし、安山岩または玄武岩が混入。
							100				3.47~3.93m: コンクリート
							100				3.93~4.28m: 砕石 径20~40mmの粘板岩角礫からなる
							100				4.28~6.66m: シルト混り礫質砂 細~粗粒の不均質な砂にシルトが混る。礫は径2~30mmの石英・花崗斑岩の亜角礫が主。礫率は10~20%程度。
							100				5.13~5.19m: 有機物混り砂を挟む。炭化物片が混入。
		2.35	6.66				100				6.66~13.86m: 礫質砂及び砂礫(Bp層)
							100				6.66~8.39m: 礫質砂 細~粗粒砂からなり、全体に径2~5mmの細礫が混入。上端側の6.66~6.82mはシルト混り細粒砂、下端側の8.08~8.39mは細粒~中粒砂。
		1.13	8.39				100				8.39~8.83m: 砂混り有機質シルト
		0.82	8.83				100				8.39~8.53m: 未炭化木片。
							100				8.83~9.54m: 有機物混り砂
		0.31	9.54				100				9.10~9.26m: シルト分多い。
							100				9.54~11.12m: 砂礫 径2~50mmの花崗斑岩角礫~亜円礫と基質は粘土を混入する粗粒砂。
		-0.80	11.12				87				11.12~12.04m: 礫混り砂 シルトの混る不均質な砂を主とし、径2~5mmの細礫が混入。
		-1.45	12.04				100				11.66~11.79m: スライム。
		-1.91	12.69				100				12.04~12.69m: 有機物混り砂 細~中粒砂が主。有機物は20~30°で傾斜。
		-2.20	13.09				100				12.69~13.09m: 有機物混り砂質シルト シルト~中粒砂からなり、全体に有機物が混入。
		-2.74	13.86				100				13.09~13.86m: シルト混り砂 細粒砂が主。
							100				13.86~16.24m: 砂礫(Csg1層) 礫は径2~40mm、最大径330mmの亜角~亜円礫を50~70%含む。基質はシルトの混る不均質な砂。
		-4.42	16.24				100				16.24~60.65m: 花崗斑岩(Gp) 斑晶は径3~8mmの石英・長石が主で、径2~5mmの黒雲母が混入。石基は優白質。
						D'	100	0	0		16.24~19.89m: 強風化・変質部である。 淡く赤色を帯びた灰白色を呈する。

柱状図(18.00m~36.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D 0 20 40 60 80 100	記 事
20			+	花崗斑岩	灰白	D'	100	0	0		18.68~19.89m: 変質著しく、割れ目、岩組織はほとんど残留しない。
					100		0	0	19.89~20.29m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で網目状に発達。幅0~1mmの粘土を伴う。硬質。		
					灰白	100	2	0	20.29~20.90m: 風化・変質の影響が弱くなる。		
					明褐灰	CL'	100	0	0		21.20~22.39m: 傾斜60°割れ目が多く角礫状化。硬質。
							100	4	0		22.34~22.50m: 変質粘土脈。傾斜70°、幅8~10mm。黄灰~黒色。
						100	10	10	23.71~23.85m: 傾斜約85°縦方向の割れ目が発達。		
						100	4	0	24.48~25.88m: 径5~30mm礫状~片状化。		
					褐灰	D'	100	0	0		25.88~26.62m: 土砂~礫状。岩片は径5~15mm、最大50mm程度。岩片間はシルト混り中粒砂様。軟質で指圧で変形。
							100	0	0		26.62~27.62m: 割れ目が多い。0.5~1.5cm間隔で網状に発達。
					にふい黄橙	CL'	100	7	0		28.21~28.50m: 微細な割れ目が0.2~1cm間隔で発達し、脆弱。
							100	4	0		●28.50~28.66m: 破砕部 ▲28.50~28.51m: 砂混り粘土状破砕部(Ho-2) 幅1~1.5mmの黄白色粘土を伴う。
							100	9	0		▲28.51~28.53m: 砂・細礫混りシルト状破砕部(Hb)。上端50°、下端40°。幅23~30mm。 ▲28.53~28.66m: 粘土混り角礫状破砕部(Hj)。上端40°、下端は不明瞭、幅120mm。粘土細脈が分布。
					明褐灰	CM'	100	16	16		29.91~30.21m: 傾斜40~55°の割れ目が0.2~2cm間隔で分布。一部で割れ目沿いに岩組織が不明瞭。
							100	13	13		30.21~32.40m: 割れ目はやや多い。傾斜40~50°割れ目が主。
							100	15	26		32.40~32.67m: 不規則な割れ目が1~3cm間隔で発達。片状。
					灰褐	CL'	100	9	0		33.01~35.14m: 非常に硬質であるが割れ目がやや多く一部で片状化。
							100	6	0		34.77m: 粘土脈。傾斜60°、幅5~12mm。黄褐~灰白色。
							100	9	0		35.14~35.74m: 風化・変質で割れ目が不規則で網状に発達。
30			+	花崗斑岩	灰白	明褐灰	100	9	0		
					明褐灰		100	9	0		

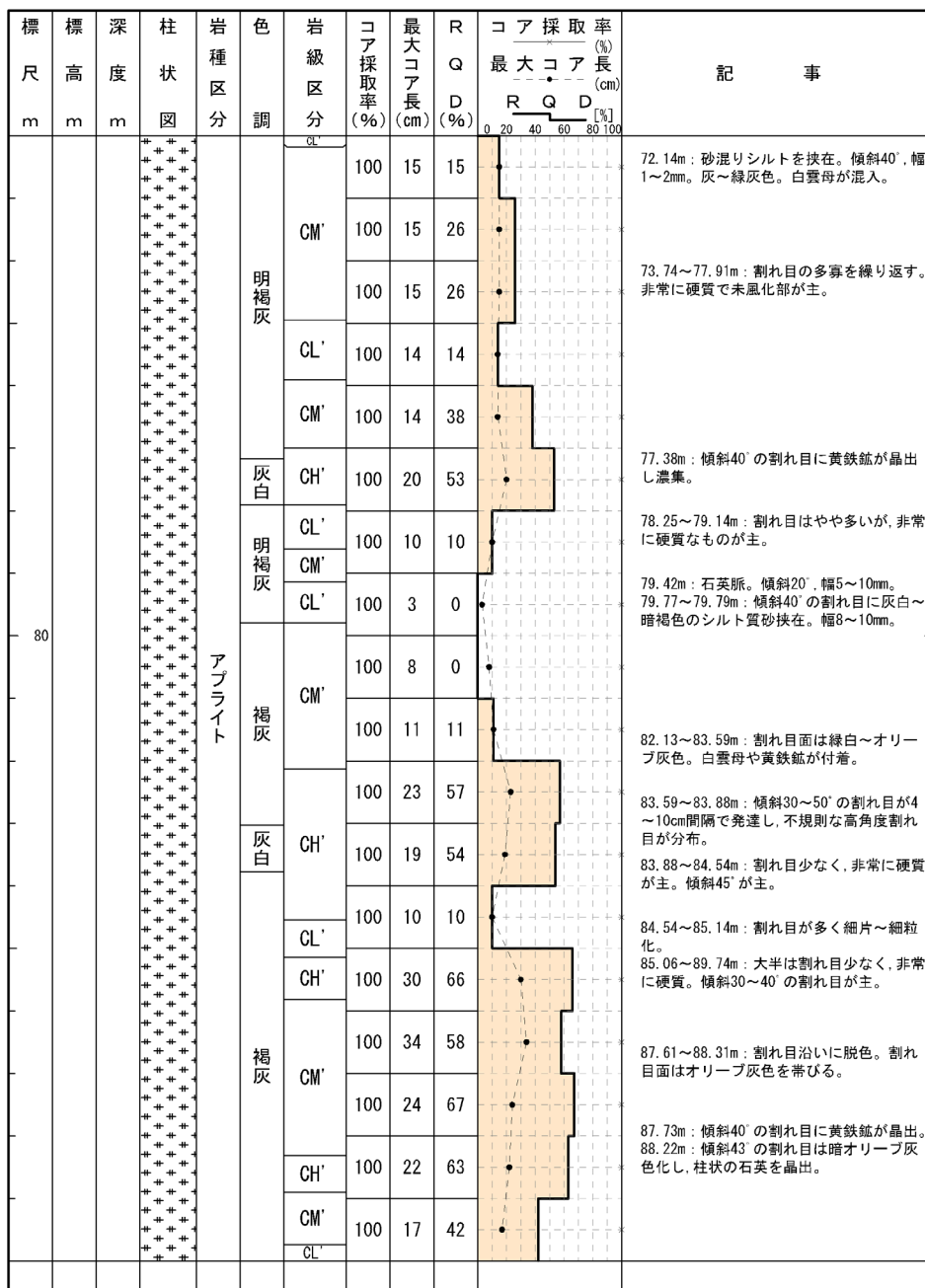
柱状図(36.00m~54.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事		
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)			
40			+	花崗斑岩		明褐灰	100	9	0	●	0 20 40 60 80 100	36.43~37.52m: 傾斜50° 割れ目と不規則な割れ目が分布。角礫~片状。		
						CL'	100	6	0			37.52~37.89m: 角礫状~岩片状。		
						にふい 黄橙	100	0	0			●	●38.10~38.27m: 破砕部 ▲38.10~38.27m: 角礫混り砂状破砕部(Hj)。上端40', 下端50'。幅11cm程度。灰白色~淡黄白色。	
						浅黄橙								D'
						明褐灰	CL'	100	5			0	●	39.21~41.29m: 傾斜30~50°と不規則な割れ目が分布し、薄く白~黄褐のシルトを挟む。
							CL'	100	5			0		40.25~40.31m: 上端40', 下端50', 幅5cm程度。灰白色の粘土混り砂状。
						明褐灰	CM'	100	10			10	●	41.65~41.74m: 割れ目が密集。
							CL'	100	5			0		42.13~42.71m: 強く風化変質し軟化。
						灰黄褐	CL'	100	13			13	●	43.51~43.81m: 強く風化変質し軟化。上端の50'の割れ目に砂混りシルトを挟在。幅8~10mm。
							CL'	100	16			16		44.63~45.20m: 強く風化変質し角礫状~岩片状。
						褐灰	CM'	100	5			0	●	45.90~47.37m: 割れ目が多い。間隔1~3cmで網状に割れ目が発達。
							CL'	100	3			0		●
						褐灰	CL'	100	5			0	●	
							CL'	100	0			0		●
花崗斑岩	CL'	100	0	0	●	▲49.27~49.55m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hj)。上端35', 下端35'。灰~淡赤白を呈する。								
	CL'	100	0	0		●	▲49.42~49.45m: 角礫混り粘土状破砕部(Hb)。上端50', 下端20'。上下端に幅0.3~5mmの暗灰粘土を伴う。							
花崗斑岩	CL'	100	8	0	●		▲49.50m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜45', 幅5~8mm。白~淡赤白色。							
	明灰褐 褐灰	100	7	0		●	50.50~51.43m: ノンコア 52.92~53.33m: 強く風化変質し岩組織は不明瞭。							
花崗斑岩	CL'	100	7	0	●		●53.33~53.35m: 破砕部 上部は粘土質砂礫状破砕部(Hb)。上端15'。幅5~15mm。灰白色。 下部は砂・細礫混り粘土状破砕部(Hc-2)。下端15'。幅5~15mm。灰白色。							
	明灰褐 褐灰	100	7	0		●								

柱状図(54.00m~72.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事			
60	-	-	+	花崗斑岩	褐灰	CM'	100	12	12	0		<p>55.40~55.84m: 割れ目が密集。全体に赤色を帯びる。</p> <p>57.42~57.68m: 変質作用により岩盤が劣化し軟質。長石類の大半は緑色鉱物に変質。</p> <p>59.55~60.85m: 割れ目沿いに細片化し、緑色鉱物脈を挟在。</p>		
					明赤灰	CL'	100	5	0					
					灰赤	CL'	100	19	19					
					赤灰	CL'	100	4	0					
					赤灰	CL'	100	12	12					
					赤灰	CL'	100	3	0					
				アプライト	-	-	+	褐灰	CL'	100			3	0
									CL'	100			3	0
								褐灰	CL'	100			5	0
									CM'	100			10	20
								明褐灰	CL'	100			10	10
									CM'	100			5	0
								褐灰	CM'	100			10	22
									CL'	100			10	10
70	-	-	+	黄灰	CL'	100	9	0						
					CL'	100	7	0						
				褐灰	CL'	100	10	10						
					明褐灰	CL'	100	11	11					

柱状図(72.00m~90.00m)



柱状図(90.00m~108.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事				
													0 20 40 60 80 100	0 20 40 60 80 100		
				アプライト			CL'	100	11	11		90.08~90.56m: 中角度の割れ目が発達し、岩片~角礫状を呈する。 91.08~91.13m: 割れ目が密集。変質、コアは細礫状。 91.13m: 傾斜40°の割れ目沿いに黄鉄鉱が晶出。				
										CM'	100	16	47		92.63~93.58m: 割れ目間隔が10cm以上で、コアは柱状。	
										CL'	100	6	0		94.00~94.63m: 低~中角度の割れ目が発達。岩片~角礫状。 94.24m: 割れ目に灰白色砂質粘土挟在。傾斜45°、幅1~2mm。 95.07~96.03m: 中角度の割れ目が多く岩片~角礫状。	
									明褐灰	CM'	100	5	0		96.38~96.97m: 中角度割れ目や微細な割れ目が発達し、コアは角礫状。	
									褐灰							
										明褐灰	100	13	23		98.28~100.40m: 不規則な割れ目が発達。岩片~角礫状。 100.40~101.03m: 細かい割れ目が発達。一部は変質も受けやや軟質化。角礫~土砂状化。 ●101.47~101.52m: 破砕部 ▲101.47~101.50m: 粘土質砂状破砕部(Hb)。傾斜25°、幅30mm。灰白色 ▲101.50~101.52m: 粘土混り砂礫状破砕部(Hj)。幅20mm。灰白~明褐灰色。	
									褐灰	CM'	100	9	0		102.55~102.94m: 中角度の割れ目が多く、岩片~角礫状。 102.94~103.11m: 礫~土砂状化。一部に灰白色粘土脈が分布。	
									明褐灰							
										褐灰	100	8	0		104.44~105.54m: 中角度の割れ目が多く、主に岩片状。 ●105.54~105.61m: 破砕部 ▲105.54~105.61m: シルト混り砂礫状破砕部(Hj)。上下端45°。オリープ灰。灰白色粘土脈が分布。	
					明褐灰	CL'	100	7	0		106.48~106.49m: 傾斜15°と50°の割れ目に粘土質砂が挟在。幅3~6mm。暗緑灰色。 106.78~106.80m: 粘土質砂礫状。傾斜50°。暗緑灰。 107.29~107.45m: 砂~細礫状。灰白色粘土脈が網目状に分布。 107.30m: 暗灰色砂質粘土挟在。傾斜55°。幅3~9mm。黄鉄鉱を伴う。					

柱状図(108.00m~126.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	コア 長 (cm)	
					明褐灰		100	8	0			
					明緑灰	CL'	100	15	26			
				明褐灰	100		5	0				
						CM'	100	3	0			
					100		11	21				
						CL'	100	12	23			
					100		11	11				
						CM'	100	7	0			
					100		9	0				
						CL'	100	10	10			
					100		7	0				
						CL'	100	7	0			
					100		7	0				
						CL'	100	4	0			
					100		5	0				
						CL'	100	4	0			
					100		4	0				
						CL'	100	4	0			
					100		5	0				
						CL'	100	9	0			
					100		9	0				

●109.16~109.46m: 破砕部

▲109.16~109.18m: 砂混り粘土状破砕部(Hc-2)。傾斜75°。幅2~10mm。

▲109.18~109.30m: 粘土質砂礫状破砕部(Hb)。下端75°。幅60mm。

▲109.30~109.32m: 砂質粘土状破砕部(Hc-2)。幅10~20mm。

▲109.32~109.46m: 角礫状破砕部(Hj)。傾斜80°。下端に幅1mmの白色粘土を伴う。

109.46~112.49m: 中角度の割れ目が多く、岩片~細礫状。

110.95~111.16m: 変質が著しく暗緑灰色化。白色粘土細脈が網目状に分布。

111.80m: 砂混り粘土挟在。傾斜45°。幅4~6mm。暗灰色。

114.66~116.33m: 割れ目が多く、岩片~角礫状。

116.04m: 傾斜45°の割れ目に淡灰色粘土挟在。幅1~2mm。

116.33~117.37m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で非常に硬質。

117.58m: 傾斜45°の割れ目に暗緑灰色の細粒物質を挟在。幅2~4mm。黄鉄鉱、緑泥石、石英が晶出。周縁が幅20mm程度淡緑色化。

120.30~122.00m: 傾斜10~40°と60~80°の割れ目が交差。径1~3cmに岩片化。

122.18~122.40m: 傾斜55~60°割れ目沿い一部軟化。

123.39m: 割れ目が密集。下端に1mm未満の暗緑色粘土や鏡肌が分布。

124.89~129.41m: 脱色・白色化した密着割れ目を含み、分離・細片化。

125.65m: 傾斜30°割れ目面周縁幅2~3cmが変質で暗緑色化。幅0.5mmの暗緑色粘土を挟在。

柱状図(126.00m~144.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事
130			+	ア プ ラ イ ト	灰赤	CL'	100	5	0	●	126.80~127.04m: 割れ目多く、岩片状。傾斜35°と60~70°割れ目が主。
					灰褐		100	9	0		
					褐灰		100	7	0		
					灰褐		100	6	0		
		-85.57	131.00				100	5	0	●	129.79~131.00m: 傾斜35~45°と10~40°の割れ目が交錯し、径10~30mmの岩片状。
							0				130.50~130.54m: 傾斜45°の割れ目沿いに暗緑色化する。幅1~3mmの石英脈を伴う。
		-86.28	132.00				0				131.00~132.00m: コア欠
							0				132.00~133.00m: 割れ目と微細な割れ目が10~30mm間隔で密に分布。径10~30mmに岩片化。
		-87.69	134.00				0				133.57~134.00m: 長さ5mm程度で扁平に細礫化。硬質。
							0				134.00~135.00m: コア欠
140											135.00~135.50m: 割れ目が多い。岩片状。硬質。
		-88.40	135.00								135.50~136.00m, 136.50~136.75m: コア欠
		-88.79	135.50				50	2	0	●	
		-89.11	136.00								
		-89.48	136.50				75	3	0	●	
		-89.64	136.75								
							100	4	0	●	136.75~137.08m: 径10~20mmの岩片状。
							100	5	0	●	137.67~137.73m: 傾斜45~50°の割れ目沿いに径10mm程度に角礫状化。暗緑色粘土が挟在。
							100	4	0	●	138.21~138.42m: 暗緑色鉱物が付着。
							100	5	0	●	138.42~140.04m: 割れ目が多い。硬質
						100	4	0	●	140.04~140.33m: 割れ目が密集し、細片~細粒化。一部硬質部が残るが上下位に比べ軟質。	
						100	3	0	●	141.71~142.00m: 大半の割れ目沿いで細片~細粒化し軟質。	
						100	6	0	●	142.48~143.53m: 割れ目沿いが細片~細粒化。	
						100	8	0	●	143.53~145.46m: 割れ目はやや多いが、ほぼ未風化で新鮮	

柱状図(144.00m~150.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D	記事
		-99.01	150.00	ア プ ラ イ ト	赤灰	CL'	100	11	11		<p>145.46~150.00m: 割れ目が多く、割れ目沿いの一部は細片化。</p> <p>146.90m: 割れ目沿いの変質で周縁幅3cmが暗緑色化。</p> <p>147.13m: 割れ目に暗緑色の熱水変質脈を伴い周縁は暗緑色を帯びる。下端側幅6~7cmが脱色。</p> <p>149.80~149.85m: 傾斜40°, 幅40mm。暗緑色。熱水変質脈を不規則に伴う。</p>
			灰		100		10	10			
					100		9	0			
					100		3	0			
			赤灰		100		3	0			
					100		9	0			

H24-B14-2

コア写真(0.00m~18.00m)



H24-B14-2

コア写真(18.00m～36.00m)



H24-B14-2

コア写真(36.00m～54.00m)



H24-B14-2

コア写真(54.00m～72.00m)



H24-B14-2

コア写真(72.00m～90.00m)

